



感染予防対策により 安全安心なカラオケボックスに



(取材にご協力いただいた同協会の権名氏)

- ✓ ガイドライン遵守により感染予防対策を徹底
- ✓ 店舗管理者に対するオンラインによる講習会の実施
- ✓ 安心してご利用いただくため、店舗のコロナ対策に関する広告を展開

ー カラオケ業界の現状についてはいかがでしょうか。

売上が低迷している店舗が多いです。やはり、これまでの報道もあり、カラオケ店に対するイメージとして、「カラオケ店＝コロナの感染リスクが高いところ」という認識が未だに強いと思います。

確かに、カラオケという行為自体は飛沫が飛びやすいものではありませんが、当協会の会員店舗では、「北海道スタイル」の実践と、日本カラオケボックス協会作成の感染拡大予防のガイドラインに基づき徹底した感染拡大防止の対策に努めております。

例えば、マイクやリモコン、メニュー等は使用の度に消毒液で除菌し、常時換気扇をONにすることで非常に換気が良い状態（5～10分で空気の入替が可能）を保ち、ルーム内のソーシャルディスタンスを保つため座席数を制限することで、ルーム内は決して密な状態ではありません。

各カラオケ運営会社が、それぞれ感染拡大防止の対策を続けてきた結果、道内カラオケボックスにおいては、クラスター（集団感染）は発生しておりません。当協会でも会員店舗と一丸となって、利用者が安心して楽しめるよう、引き続き対策を徹底していきたくと考えています。

ー 10月8日に開かれた「カラオケボックス管理者講習会」について教えてください。

当講習会は協会の取組として、毎年、店舗管理など実務を担っている道内カラオケ店の店長等にお集まりいただき、北海道防犯協会様・北海道警察様・都市開発局様・札幌市消防局様等にご講演いただいております。具体的な内容としては、「店舗の防火や防災」といった運営上の話から、「SNSを使った少年の非行防止」といった若年のお客様への啓発を目的とした内容まで、実践的な問題について取り扱っております。今年度は時節に鑑み、オンライン会議システム「Zoom」を利用した開催とさせていただき、北は羽幌町、南は函館市まで、道内各地のカラオケ運営会社18社計約100名に受講いただきました。

ー 最後に、「北海道カラオケボックス協会」として、今後どのようなコロナ対策に取り組んでいかれるのでしょうか。

前述のように、道内カラオケボックスにおいてクラスター（集団感染）は発生していないものの、依然として感染者は全道的に増加しており予断を許さない状況です。今回の「カラオケボックス管理者講習会」では北海道庁様にご協力いただき、感染拡大防止対策の重要性の確認と再度徹底の注意喚起をしていただきました。ウィズコロナそしてアフターコロナにおいても、カラオケボックスが、安心・安全に老若男女を問わずご利用できる、そして、元気になる・ストレスを発散して健康になる場所として、健全な業態であり続けられるよう、徹底した感染拡大防止対策をしております。また、今後カラオケボックスでの感染拡大防止対策・安心安全を謳った広告を、YouTubeや新聞広告といった媒体を使い、幅広い層に向けて展開していく予定です。少しでもカラオケボックスのイメージ回復に努めてまいりたいと考えています。

(講習会中の画面)



(講習会での道の担当者からの説明の様子)



【団体プロフィール】

名称：北海道カラオケボックス協会
会長：高橋 洋一 ((株)タカハシ 代表取締役社長)
事務局住所：〒065-0011
北海道札幌市東区北11条東1丁目1-1
(株)北海道第一興商内
TEL：011-752-3321
FAX：011-752-3336